

# その2：対話的に動かす…軽量 MicroPythonプログラミング

ご購入はこちら

永原 柁

この章ではブロック・エディタから一歩進めて、プログラミング言語としてPythonを使ってみます。Pythonは汎用のプログラミング言語であり、幅広い分野で用いられています。

micro:bitではメモリなどの制約から、フルスペックのPythonではなく、組み込み用に機能を制限したMicroPythonを利用できます。

## オンラインMicroPython開発環境

micro:bitには、ブロック・エディタと同様に、ウェブ・ブラウザで利用するオンラインMicroPython開発環境が用意されています(図1)。

これを使うと、ブロック・エディタのときと同様に、ウェブ・ブラウザ上でプログラムを作成できます。

作成したプログラムをmicro:bitに書き込むには、ブロック・エディタのときと同様に、一度ダウンロードしてそのファイルをmicro:bitに対応するドライブにコピーします。

ただし、開発環境としては機能的にはとてもシンプルなものなので、以下で利用するMuエディタなど、他の開発環境をお勧めします。

### ● MicroPythonに関する情報

micro:bit向けMicroPythonに関する情報は、以下のサイトにまとめられています。このサイトは有志により日本語化されています。

<http://microbit-micropython.readthedocs.io/ja/latest/index.html>

## パソコン側Muエディタ

このオンライン環境とは別に、Muエディタという、PC上で実行する開発環境も用意されています。Muエディタは、micro:bitで動作するプログラムをMicroPythonを使って開発するための環境です。この章では、このMuエディタを使います。



(a) プログラミング言語選択



(b) MicroPython オンライン・エディタ画面

図1 micro:bitにはオンラインMicroPython開発環境が用意されている